

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 62 (当初計画 : No. 62)

東北森林管理局

取組名	国有林材の安定供給システムによる資材の供給 (継続)
流域名	宮城南部流域
分類番号	イ-15、カ-22
実施箇所及び実施日	①石巻市 (第1回) 平成25年4月25日 ②石巻市 (第2回) 平成25年7月19日 ③石巻市 (第3回) 平成25年11月22日
取組の背景及び必要性	安定的な資材調達のため、引き続きシステム販売による国有林材の安定供給の要望がある。
取組の内容	<p>国有林材の安定的な供給については、各事業者からの強い要望がある。このような中で、「国有林材の安定供給システムによる販売協定」に基づき対応した、平成25年度の供給については、東日本大震災からの復旧・復興に合板用資材を主として本格的な資材の需要があり、安定的・計画的な事業運営が図られるようシステム販売を活用した資材の安定供給を行った。</p> <p>①～③は、合板用県産材の供給等に関する調整会議の場を活用し情報提供を行っている。</p>
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署 協定締結による国有林材の安定供給
連携協働相手先・役割	民間事業者ほか 安定確保による販路の拡大、有利販売
取組の結果、反響、今後の課題等	安定的な供給が可能であり、需要者側からも要望がある。資材の需要動向に応じた弾力的な対応を行うためには関係団体等との十分な調整を行う必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	関係する団体が出席する各種会議等で周知する。需要者の動向に応じた安定的な供給が可能であるとともに、情報共有によって計画的な地域振興と需要を確保できる。

【参考資料】

取 組 名	国有林材の安定供給システムによる資材の供給（継続）
-------	---------------------------

合板用県産材の供給に関する調整会議開催状況



平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 63 (当初計画 : No 64)

東北森林管理局

取組名	森林共同施業団地における取組 (新規)
流域名	宮城南部流域
分類番号	ア-11、ウ-16、オ-21
実施箇所及び実施日	宮城県七ヶ宿町嶽家老国有林 368 林班外 平成 25 年 9 月 10 日
取組の背景及び必要性	施業の低コスト化、間伐の推進のための民有林・国有林の連携した取組である、森林共同施業団地における現在までの取り組みについて、現地事業実行箇所の見学等を含め事例の紹介を行い、集約化による低コスト化を推進する必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成 22 年 10 月に林業の低コスト化、間伐の推進を目的とした森林共同施業団地「七ヶ宿町地域森林整備協定」を締結した。 平成 24 年度に国有林の林業専用道が完成したところである。また、平成 25 年度には民有林において、森林作業道を作設し間伐を実施する予定である。</p> <p>【平成 25 年度の取組内容】 宮城南部流域森林・林業活性化センターと共催により、現地において検討会を実施し、集約化による低コスト施業の普及を行った。</p>
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署 森林共同施業団地の説明
連携協働相手先・役割	宮城南部流域森林・林業活性化センター ・ 協定相手方 取組の説明
取組の結果、反響、今後の課題等	森林整備の推進は地域の大きな課題となっており、当該事例を参考に集約化の普及が見込まれる。 また、民有林材のシステム販売による資材の安定供給についても、普及が見込まれるが担当者の育成等が課題となる。
PR の実施状況及びその期待する効果	民有林・国有林の連携による森林整備の推進と木材の安定供給等の林業の活性化並びに集約化施業の普及

【参考資料】

タイトル

森林共同施業団地における取組（新規）



主催者挨拶（署長）



資料の説明を聞く参加者



協定締結者からの説明



森林管理署の路網説明



森林共同施業団地（民有地）の林況説明

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 64 (当初計画 : No. 65)

東北森林管理局

取組名	森林病虫害防除対策の推進 (継続)
流域名	宮城南部流域
分類名	カ-27
実施箇所及び実施日	宮城県松くい虫防除対策協議会 平成 26 年 1 月 30 日
取組の背景及び必要性	松くい虫被害については、内陸部で引き続き発生が見受けられている。また、海岸林では東日本大震災の津波により多大な被害を受けたため被害は把握できない状況にある。 平成 21 年度に県内での発生が確認されたナラ枯れ被害については積極的な対策を実施しているが、現在も新たな発生の確認があり、終息には至っていない状況にある。 今後も被害の情報収集と防除対策等は、民有林と国有林が連携した取組が重要である。
取組の内容	松くい虫被害とナラ枯れ被害についての発生状況等の情報収集及び意見交換と国有林の被害対策状況を報告し、今後の取組について確認した。
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署、局森林整備課 情報収集、民有林と連携した防除対策
連携協働相手先・役割	宮城県、関係市町 情報収集、国有林と連携した防除対策
取組の結果、反響、今後の課題等	関係諸団体が出席する各種会議等を通じて周知した。 情報の共有等、今後の対策について連携を強化する必要がある。
PR の実施状況及びその期待する効果	関係機関との連携により、国有林の取組を PR している。

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 65 (当初計画 : No. 66)

東北森林管理局

取組名	森林ボランティアによる森林整備活動の推進 (継続)
流域名	宮城南部流域
分類名	カ-32
取組の背景及び必要性	<p>東日本大震災の津波により仙台沿岸の海岸林は壊滅的な被害を受けた。この海岸林の再生については、一日も早い復旧が望まれている。また、海岸林における森林整備については、地元住民や各ボランティア団体から協力の要望がある。</p> <p>今後も、海岸林の再生にむけた活動の取り組みについて啓蒙する必要がある。</p>
取組の内容	<p>海岸林の整備にあたっては、その海岸林の現状を踏まえた活動が重要である。平成24年度は仙台市の海岸林において植樹式を開催したところある。</p> <p>平成25年度においても一般者や地元住民、森林ボランティア団体等による「海岸林整備活動 (植樹)」を実施した。</p> <p>また、平成26年度の協定締結による森林整備活動「社会貢献の森」での実施に向け公募による協定の締結を行った。</p> <p>さらに、管内で「遊々の森」「ふれあいの森」協定締結者に対し活動の情報交換の場を提供するとともに、作業用具の貸与、講師の依頼に対応した。</p>
国有林担当部局・役割	<p>仙台森林管理署 作業指導、作業用具の貸与等</p>
連携協働相手先・役割	<p>ボランティア団体等 森林林整備 (植樹)</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>マスコミ関係者に情報提供を行う。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>海岸林の整備活動を実施により、海岸林の必要性と復旧に対する認識を深めることと、今後の海岸林の復旧に対しての意識の向上が期待出来る。</p>

【参考資料】

取組名	森林ボランティアによる森林整備活動の推進（継続）
-----	--------------------------



海岸林植樹活動の様子



植樹が完了した箇所



体験林業（枝打ち）

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 66 (一)

東北森林管理局

取組名	低コスト作業システムの推進 (新規)
流域名	宮城南部流域
分類名	イ-15、オ-21
実施箇所及び実施日	横川岳国有林108林班 平成25年6月27日
取組の内容	<p>安定的・計画的な事業運営が図られるようシステム販売を活用すると共に、採材技術の向上に向け、関係機関と連携し採材技術検討会を実施した。</p> <p>出席者 国：青森事務所2名、仙台署8名、宮城北部署5名 事業体等：10団体 39名</p>
国有林担当部局・役割	仙台森林管理署 フィールドの提供、指導
連携協働相手先・役割	民間事業体ほか
取組の結果、反響、今後の課題等	採材技術の向上が図られる。
PRの実施状況及びその期待する効果	技術の向上により効率的・計画的な資材の供給に資する。